

不正軽油が引き起こす害

不正軽油の製造・販売・使用は悪質な脱税行為であるだけでなく、次のような問題を引き起こす反社会的な行為です。

有毒物質の排出

不正軽油の製造過程で発生する**硫酸ピッチ**などの**有毒物質**は、**ほとんどが不法投棄**され、全国的に問題となりました。硫酸ピッチは、やけどや失明、呼吸困難の恐れがある**有毒物質**で、漏出すると亜硫酸ガスを発生し、周辺の水質や土壌を汚染します。



大気汚染

不正軽油をディーゼル車の燃料として使用すると、排気ガス中のPM（粒子状物質）やNOX（窒素酸化物）を増加させ、**大気汚染の原因**となります。

これらの物質は、呼吸器に害を及ぼすなど、**人の健康に重大な影響**を与えます。



エンジンの損傷

不正軽油を使用するとエンジン本来の性能が発揮できなくなるほか、**不具合や損傷の原因**となることがあります。



不当廉売

不当に廉価な不正軽油が流通することにより、**公正な市場競争**が阻害されます。



火災の危険

密造工場のほとんどは、本来必要とされる消防法の許可を得ておらず、**県民の身体および財産が火災の危険**にさらされます。

